

# 売れば分かる セールズ・パーソンと 農作業

丸山敏幸 (サクセス・マネジメント新潟代表取締役)

これは、何度か先輩から聞いた話なのですが、私たちが、PJMジャパンの有田会長に何か相談すると、必ず、「売れば分かる」と一言返ってきたものだそうなんです。

ここで、はっきり申し上げておきますが、あくまでも先輩から聞いた話ですから、誤解しないでいただきたいと思っています。

私もSMIジャパンのトレーナーを二年近くさせていたのですが、この短い言葉にすべてがあつたのです。すべてが語られていたのです。このことを知った時から、有田会長には、感謝の心を伝えずにはいられません。

今日はその売るといふことについて、私なりに感じたことを話してみたいと思います。まず、日本のマーケットに見られる、セールズ・パーソンの状況をピックアップしてみたいと思います。

一番目は、最初グー、ハイやめたのパターンです。最初はパツと売れて素晴らしい成果を上げるのですが、すぐに売れなくなり、姿を消してしまふ、いっせきに飛び立って失踪してしまうパターンです。

行のままのパターンです。三番目は、最初はまったく売れず、売れるようになるまでのガマンができず、忍耐力が失われ、息が切れてしまつて、滑走路から飛び立てないまま、一、二度バウンドして終わってしまうパターン、なごがあります。

そんなパターンを見ていると一つの気づきが生れます。一番目のいっせいに売れて失蹤してしまうパターンの人たちは、SMIの概念に惚れ込んでいない人で、ポール・J・マイヤーさんのSMIプログラム発想の原点を理解せずに、概念を無視して、ビジネス感覚だけで物売りをした人たちだといえると思います。

二番目の低空飛行のパターンは、大きな目標設定もせずスタートしてしまつた人たちです。このビジネスの豊かさを知ることなく、自分にとって価値ある目標も設定せずにはじめてしまつた人たちです。ですから、元の職業・元の仕事で取っていたくらい収入を得てしまつと、心のサーモスタットが働き、自動ブレーキが作動して、行動が止まってしまうのだと思うのです。行動や結果がセルフ・イメージを超えることはないのですから、この人たちは、このビジネスを通じての自身の進歩・成長・変化を無視したともいえるでしょう。

## SMIプログラムの活用 心と頭の畑を耕す

### MOTIVATION

ポール J. マイヤー



#### あなたは何を望んでいますか？

わたしは「安定」ではなく、チャンス望んでいます。「計算された冒険」を望み、アイデアを生み出し築きあげてくれる夢やビジョンを望んでいます。自分自身の創意工夫、忍耐力、自立心しだいで、失敗することもでき、成功することもできる権利を望んでいるのです。

自分の尊厳を施し物と交換しようとはしません。どんな脅迫にもひるまず、どんな暴君にも屈服しません。

わたしは、生存の保証だけでなく、「人生の挑戦」を望みます。わたしは、真直ぐに背を伸ばし、誇りを持ち、何事も恐れぬ姿勢を望んでいます。わたしは、自分自身のために考え、行動する栄えある特権を望み、どのような結果になろうとも、その責任を引き受けます。

自分が生み出した恩恵を享受し、真正面から人生にぶつかることを望みます。そして、先人が達成した、あらゆる文明文化の恩恵に「感謝」します。

これが、人間の遺産なのです。これこそ、実現への道なのです。

COPYRIGHT © SMI INTERNATIONAL, INC. 1974 禁複製禁転載

提供 PJM JAPAN株式会社

ら、有田会長のいう「売れば分かる」が本当の意味で理解でき、体験できたのではないのでしょうか。そして、大きな利益を手にすることができたと思います。

「素直に行動する」。この一点を取ってみても、人に素直になるのではなく、マニュアルに、ベーシックに、原理原則に素直になることを意味するのであつて、人に素直になることではないのですが、そのように考えない人のほうが多いように思われます。

私たちのプログラムの売れる量は、自己成長の量に比例すると私はいつも思っています。その人の成長の量が、販売量に比例すると見れば、「も自分ほくるところまで来た」と誇り高ぶることもなく、自分自身の目標を見失うこともありませぬ。

日々、自分自身の進歩・成長・変化に興味を持ち続け、期待をし続けることができたから、その結果、売り続けることができ、販売成績を伸ばし続けることになると思っています。売するためのスキルをみかくのも大切ですが、売り続ける心をみかくことが、最も大切なことだと思つたのです。それはひと言でいえば、SMIプログラムを自ら、自分自身のために使うことといえると思います。

そして、心の畑が耕せたら、次は、その柔らかく環境の整つた畑に球根・種を植えます。一粒の種の偉大な力を信じて種を蒔くのです。これが目標設定です。その一粒の種から大きな収穫、実りを期待して夢をふくらまします。

この種を植える気持ち、ビジネスにおいての目標設定をすることになるわけですが、種を蒔いても芽が出てくるまで、がまんが必要です。若い芽を育てるための、夢を育てるためのビジョナリー・イメージが必要なんです。SMIプログラムを売るのが私たちの収穫を意味するのではなく、売り続けている、そのプロセスの後からくる収穫が本当の収穫であつて、一番大きな収穫・利益を手にすることができると信じております。

その準備、忍耐、汗が私たちの成功を約束してくれ、プロセッサ・パーソンとして保障をしてくれることになりまふ。その結果、私たちは収穫という、豊かな利益と評価と賞賛を手に入れることができるのだと信じております。